

先生用 フンボルトペンギンのかんさつシートと解説

ワークシートのねらい フンボルトペンギンの行動を観察することを通して、動物への興味・関心を引き出すと共に、動物の分類を考えるきっかけとする。

フンボルトペンギン ペンギン目ペンギン科

- ペルーからチリの太平洋側沿岸地域に生息しています。
ペンギンは寒いところにすんでいるというイメージがありますが、フンボルトペンギンは比較的暖かい地方で岩の割れ目やグアナ層と呼ばれる水鳥の糞が長い年月にわたって堆積された層に穴を掘って巣をつくり、巣と海をいききして生活しています。
- 主な食べ物は、イワシなどの魚類や甲殻類などです。動物公園では小さめのアジを与えています。食べやすいように、魚の頭から飲み込みます。これは、鳥の仲間でも共通しており、口には歯がないので丸飲みします。
- ペンギンは鳥の仲間ですが、飛ぶことはできません。しかし、その体のつくりから、昔は空を飛んでいたと考えられています。やがて、空よりも食べ物が豊富で、敵の少ない海へと生活を変え進化してきました。

■ ペンギンは鳥の仲間

ペンギンは鳥の仲間ですが、飛ぶことはできません。しかし、その体のつくりから、昔は空を飛んでいたと考えられています。やがて、空よりも食べ物が豊富で、敵の少ない海へと生活を変え進化してきました。

鳥類の主な特徴は、

- ①体は羽毛でおおわれている
- ②前肢は翼となり、後ろ肢のみで体を支える
- ③恒温動物（気温が変動しても体温を一定に保つ）
- ④硬い殻の卵を産む
- ⑤くちばしがあり、歯はない、
などです。

鳥の仲間がよくやる羽づくろいも、ペンギンもくちばしを使って丁寧に行います。陸上、水中どちらでも行います。

■ 海に適したからだ

からだの形

水の抵抗を受けにくい流線型をしています。

からだの色

からだの白黒の色は、海にいる時、カモフラージュになっています。水中から見られるとき、白い腹は空の明るさに溶け込み見えにくくなります。水面から見られるときは、黒い背中が海の深さの暗闇に溶け込みます。このように、体色で天敵から身を守っています。



透明なまぶた

水中でも目を使って、獲物を探します。そのため、目には第2の透明なまぶたがあり、「ゴーグル」のような働きをします。

水をかくフリッパー

水中を飛ぶように泳ぐペンギンの翼は、水をかきやすく1枚のオールのように変化したフリッパーになっています。また、空を飛ぶ鳥は飛ぶために体より翼の方が大きく、一方、ペンギンは水の抵抗を少なくするため、フリッパーは体に比べて小さくなっています。

■ フリッパーは泳ぐためのものだけではない！

泳ぐためになくはないフリッパーですが、生活の中でいろいろな使い方をしています。

歩くときに、バランスをとったり、ケンカするときにはフリッパーでたたきあっています。

また、暑いときには、ゾウが耳をパタパタするように、フリッパーをパタパタさせて、

血管を通る血液を冷やし、体温をさげています。

* 飼育員のコラム 『フンボルトペンギンとケープペンギン』*

フンボルトペンギンとケープペンギンは見た目もとてもよく似ています。動物公園でもこの2種類を飼育しています。見分け方は、目やくちばしのまわりのピンクの部分が目の上のあたりだけなのがケープペンギンで、くちばしのまわりもピンクなのがフンボルトペンギンです。

ケープペンギンはアフリカ南部の海岸近くの林に、穴を掘ったり、小枝などで巣を作ります。

フンボルトペンギンは子ども動物園で、ケープペンギンは鳥類・水系ゾーンで展示しています。見比べてみてください。



ケープペンギン

フンボルトペンギン